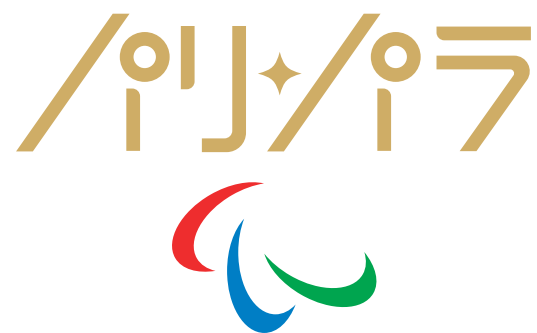


三木・小田組「銀」



車いすテニス



【男子ダブルス決勝】プレーする三木拓也（左）、小田凱人組＝パリ（共同）



車いすテニス男子ダブルスで銀メダルを獲得した三木拓也（左）、小田凱人組＝パリ（共同）

【パリ・本紙特派員＝小林竜大】パリ・パラリンピック第10日の6日、車いすテニス男子ダブルスの三木拓也（35）＝トヨタ自動車、出雲市出身＝、小田凱人（18）＝東海理化＝組が決勝で、アルフィー・ヒューエット、ゴードン・リード組（英国）に2－6、1－6のストレートで敗れ、銀メダルだった。

山陰両県出身者のパリリ

略歴

みき・たくや 出雲市出身。出雲高校3年だった2007年に左脚に骨肉腫が見つかり、手術で人工関節を入れた。その後、車いすテニスを始め、10年4月からITFツアーに参戦。パリリンピックはパリ大会を含め4度出場。16年リオデジャネイロ大会では、シングルで準々決勝進出、真田卓と組んだダブルスで4位に入った。シングルの世界ランキングは9位。

三木・小田組は2回戦で中国、準々決勝で韓国、準決勝でスペインのペアを下して決勝に進出した。4度目のパリリンピック出場で初めてメダルを勝ち取った三木は「金メダルを取りにきた。それに値するプレーができず悔しいが、こういう舞台で多くの観客の前でプレーできたのは幸せだった」と話した。

山陰勢 20年ぶりメダル



発行所
山陰中央新報社

松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440



山陰中央新報の購読申し込みは
0120-49-2550
受付時間 9:30～17:30（日曜、祝日除く）

ンピックでのメダルは、花田裕治（江津市出身）が2004年アテネ大会の競泳で銀と銅を合わせて四つのメダルを獲得して以来20年ぶりとなった。

第1セットは0－3から、三木がドロップショットを効果的に決め、2ゲームを連取したものの押し切られた。第2セットは英国ペアが巧みなコンビネーションで主導権を握り続けた。